経営者など約100人が参加

シンポで熊本応援

経済の活性化策探る

県経営コンサルティング協議会（森田稔会長）は、熊本地震からの熊本経済の復興・活性化策を探る「頑張れ熊本！応援シンポジウム」を、熊本市内のホテルで開いた。パネリストから五人の経営者など約100人が出席、県企業大学から五人のパネリストのほか、県出身で東京、大阪、名古屋、福岡、熊本の各地で活躍する人材育成に関する民間インターネット大学の代表ら五人がパネリストとして参加。テレビ会議方式で行われた。

熊本経済の活性化策を話し合った「頑張れ熊本！応援シンポジウム」

県のパネリストから、「地域力の優秀な人材の獲得競争に勝つことが必要」（保元道宣・コロプ・ドットコム社長）、「地域の活性化には人を集めることが重要。イベントや観光誘致のほか、大学で優秀な人材を育てることだ」（尾家発・尾家産業会長）、「若者が地元に帰り、起業精神を持つようにしていくべきだ」（田端宏・アライム社長）などの指摘があった。

これに対し、地元からは「人材育成に注力し、雇用を守っていくことが大切」（坂本正・熊本学園大学長）、「チャレンジする人を支援する施策に力を入れたい」（荒田信一・鹿南建設社長）、「観光や労働面で良い」（鹿南建設社長）などの意見が出た。

また、地域活性化のための熊本の食のブランド化に関し「観光誘致に力をいれたい」（亀井鋼材社長）、「亀井鋼材郎」（亀井運転社長）などの意見もあった。